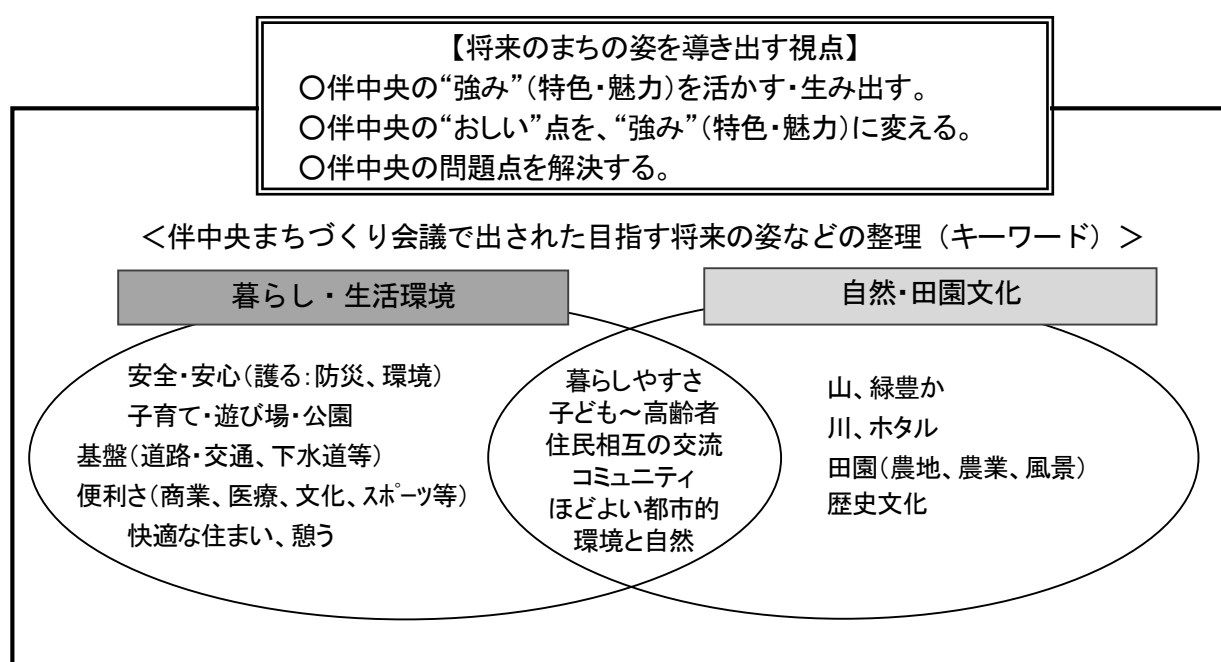


第3章 まちづくりの基本理念（コンセプト）

1 目指すまちの姿（将来像）

伴中央地区は、西風新都の安佐南区の区域のほぼ中央に位置し、東には広島南アルプス（安佐南区の武田山から西区の鈴ヶ峰に至る全長約15km）を構成する権現峠などの山地、その他は住宅団地や一部残されている緑地などが地区を囲んでいます。その中に、住宅地が広がり、中筋沼田線沿いには商業施設などが立地し、農地や緑地、水辺の環境（大塚川）も残されています。また、地区の中央を南北方向に中筋沼田線及びアストラムラインが通り、伴中央駅が立地しています。

まちづくり計画の策定に当たっては、こうした特性や、伴中央まちづくり会議などで出された地区の“強み”、問題点、将来イメージを整理するとともに、「西風新都推進計画2013」の考え方などを踏まえ、「第1編 土地利用の将来像」と共通する「将来のまちの姿」を掲げます。



目指すまちの姿（将来像）

安全・快適で、自然と田園文化が彩る『暮らし活いき“ふるさと”伴中央』

- 安全・安心と個性・魅力をみんなの力と支え合いで守り、高めるまち
（“住民力”が育つまち）
- 暮らしやすく便利さを備えた生活環境の整ったまち
（ほどよい都市的環境のあるまち）
- 緑と水と田園文化が彩る“ふるさと”を感じるまち
（だれもが愛着を感じ、定住やUターンしたいまち）

2 まちづくりの目標（基本的な方針、取組の柱）

目指すまちの姿（将来像）を実現するため、伴中央地区の現状（“強み”、問題点など）や課題を踏まえ、分野別のまちづくりの目標（基本的な方針、取組の柱）を次のように設定します。

●安全・安心なまちづくり

伴中央地区の実情を踏まえながら、だれもが安全・安心に暮らせるまちを築いていくため、行政・関係機関と連携しながら、交通安全や防災、防犯、環境の保全などに取り組むとともに、道路や河川、避難場所などハード面の整備に向けた活動にも取り組みます。

●便利で暮らしやすいまちづくり

伴中央地区における暮らしの利便性を高めるため、道路・交通網の整備の優先順位などを地区で検討し方向づけ、行政に働きかけるとともに、コミュニティの場の確保・充実、地区の利便等の向上に資する土地利用の促進などに取り組みます。

●子育てしやすく、だれもが生きいきと暮らせるまちづくり

子育てしやすく、だれもが生きいきと暮らせるまちを目指し、子どもたちの居場所、子育てサロン、子どもと高齢者等の交流の場や機会、高齢者等の知識や技術等の活用など、ソフト・ハード両面から取り組みます。

●水と緑と文化が息づくまちづくり

伴中央地区の自然や田園、地域にある有形・無形の歴史文化を掘り起こし、活かしながら、この地ならではの体験活動などができる環境や活動づくりに取り組みます。

●支え合いと住民力^{※1}・地域力^{※2}を高めるまちづくり（全体に関わる取組方）

伴中央地区の住民、事業者等が、まちづくりなどの情報を共有化し、参加の輪を広げながら、相互に協力して、一步一步、地域の課題の解決や魅力づくりに取り組みます。また、伴中央地区以外の協力者・支援者などを含めた人的ネットワークを構築し、人が育ち、活躍するまちを目指します。

※1 住民力：住民自身の自立的な力の発揮

※2 地域力：地域の課題を、地域の人たちで力を合わせ解決する力

※上記の5つの目標は相互に関連